

健康教育論	3 年・後期	2 単位 30 時間	准教授 島田 昇
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33310903

1. 授業のねらい・概要

健康教育の目的・方法について学習する。健康教育の演習をとおして、健康課題への気づきと学生自らの「学習する」主体の形成を図る。

2. 学修の到達目標

1. 健康課題の歴史の変遷と近年における健康課題を理解できる。
2. 演習をとおして、健康教育の企画と展開方法について理解を深めることができる。
3. 健康教育プログラムを作成しプレゼンテーションすることができる。

3. 授業の進め方

講義およびグループワークとする。演習として、健康教育の実際をイメージし、課題の設定、学習資料の作成、教室の運営等を行う。

4. 授業計画（講義）・・・・（講義）（演習）（講義・演習）（実習/実技）のどれかを記入する *改訂したもの

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	健康教育理論の変遷	講義	予習：P188 健康教育の目的についてレポートにまとめる。 復習：日本国憲法第 25 条についてレポートにまとめる。	島田 昇
2	健康づくりの歴史とヘルスプロモーション	講義	予習：ヘルスプロモーションについてレポートにまとめる。 復習：健康づくりについてレポートにまとめる。	島田
3	教育媒体	講義	予習：P191 健康教育のプロセスについてレポートにまとめる。 復習：健康教育の対象・方法・特徴についてレポートにまとめる。	島田
4	健康教育指導案	講義・演習	予習：健康教育の企画についてレポートにまとめる。 復習：P199 自己効力感を高める支援についてレポートにまとめる。	島田
5	健康教育指導案作成①	講義・演習	予習：P195 計画書の作成についてレポートにまとめる。 復習：健康教育の媒体・成果・影響・評価についてレポートにまとめる。	島田
6	健康教育指導案作成②	講義・演習	予習：P195 計画書の評価についてレポートにまとめる。 復習：指導案全体について学んだことをレポートにまとめる。	島田
7	健康教育シナリオ作成①	講義・演習	予習：防煙教育のシナリオについてレポートにまとめる。 復習：防煙教育のシナリオについて学んだことをまとめる。	島田

8	健康教育シナリオ作成②	講義・演習	予習：飲酒の健康教育のシナリオについてレポートについてまとめる。 復習：飲酒の健康教育のシナリオについて学んだことをまとめる。	島田
9	健康教育媒体の作成①	講義・演習	予習：健康教育媒体についてレポートにまとめる。 復習：高崎市の場合、どのような健康教育媒体を実施しているかレポートにまとめる。	島田
10	健康教育媒体の作成②	講義・演習	予習：健康教育の評価についてレポートにまとめる。 復習：健康教育の評価について学んだことをレポートにまとめる。	島田
11	健康教育媒体の作成③	講義・演習	予習：健康教育媒体の総括についてレポートにまとめる。 復習：健康教育媒体について学んだことをレポートにまとめる。	島田
12	健康教育の実践①	講義・演習	予習：防煙・飲酒等の具体的な実践についてレポートにまとめる。 復習：実践したことについて学んだことをレポートにまとめる。	島田
13	健康教育の実践②	講義	予習：ライフステージについてレポートにまとめる。 復習：ライフステージについて学んだことをレポートにまとめる。	島田
14	健康教育の実践③	講義	予習：健康教育の特徴についてレポートにまとめる。 復習：高崎市の健康教育の実践について学んだことをレポートにまとめる。	島田
15	健康教育の実践④・まとめ	講義	予習：具体的な実践についてレポートにまとめる。 復習：実践について学んだことを、総括し、レポートにまとめる。	島田

4. 授業計画（講義・演習） * 以前のもの

1. 健康教育理論の変遷 2. 健康づくりの歴史とヘルスプロモーション 3. 教育媒体 4. 健康教育指導案 5. 健康教育指導案作成 ① 6. 健康教育指導案作成 ② 7. 健康教育シナリオ作成 ① 8. 健康教育シナリオ作成 ②	9. 健康教育媒体の作成 ① 10. 健康教育媒体の作成 ② 11. 健康教育媒体の作成 ③ 12. 健康教育の実践 ① 13. 健康教育の実践 ② 14. 健康教育の実践 ③ 15. 健康教育の実践 ④・まとめ
---	--

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）60%, 健康教育指導案 10%, 健康教育シナリオ 10%, 健康教育媒体 10%, 健康教育の実践 10%を基準に総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：荒賀直子，後閑容子（2020）：公衆衛生看護学. 第5版, インターメディカ.

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

グループ演習をスムーズに行うため、進行度に合わせ、グループ間でスケジュールを計画し、課題を実施すること。

8. 受講上の留意事項

遅刻、欠席ならびに授業中の私語、授業に関係ない言動（スマホの使用等）は慎むこと。
講義時間開始後の無断での教室の入室および退出は慎むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験の解答は試験後に口頭にて解説する。

提出された課題は教員が確認して返却する。内容が不備なものは再提出を求める。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

行政委託機関および，医療機関での保健師としての勤務経験を活かして，講義・演習を行う。